平成２９年度

社会福祉法人南陽会

事　業　報　告　書

事　業　報　告　書

【目　次】

法人運営報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1～7

1　法人運営の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1
2　理事会・評議員会・監事監査の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2～3
3　研修関係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P3
4　補助金関係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P4
5　寄付・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P4
6　登記事項・定款変更・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P4
7　人事管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P5
8　福利厚生・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P5
9　財務管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P5
10　主な施設・設備等の整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P5
11　法人全体の共通の取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P6～7

各事業所　事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P8～34
1　障害者施設あかまつ荘・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P8～13
2　下郷作業所ホイップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P14～17
3　すみれ荘・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P18～22
4　只見地域活動支援センターじねぇんと・・・・・・・・・・・・・・・・・・P23～25
5　みなみあいづ障がい者相談センター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P26～30
6　こまどり荘・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P31～34

社会福祉法人　　南陽会

≪社会福祉法人南陽会　法人運営報告≫

１、法人運営の概要

平成 29 年度は、南陽会の運営理念及び運営方針に従い、南陽会の年度事業計画に基づき、福祉情勢の変化に即応した主体的で安定した運営を目指し実施した。施設体系管理体制づくり、サービス事業の拡充、財務確保・経営事務の精度向上を行い、利用者へより充実したサービス提供努力を行った。

社会福祉法改正に伴い、定款の変更、新規規程の制定、理事・監事・評議員の見直しや、理事会、評議員会の新たなあり方について、法律に基づいて制定した上で法人運営を実施してきた。

利用者サービス事業においては、予てより計画していた「グループホームこまどり荘」を只見町に建設することができ、２月１日に開所することが出来た。建設に当たっては福島県の補助金と只見町からの助成金を頂くことが出来た。

障がい者支援施設あかまつ荘においては、「施設から地域へ」を主眼に置いて地域生活移行にも努力し、２名の方の地域移行をすることが出来た。

下郷作業所ホイップに関しては、就労事業所の役割で活動してきており、支援学校卒業生の受入拡充を図った結果、昨年度に引き続き２名の卒業生を受け入れた。一般就労を目指すことも同時に行い、企業開拓と就職、定着に向けた取り組みを行った。

経理部門では昨年同様、南会津町の宍戸会計事務所と契約を行い、月に一度の経理及び財務状況の把握に努めた。経理及び庶務の効率化を図る意味で、年度内で事務員の増員を行った。

事業運営に関しては、入所施設１、通所事業所１、グループホーム６、相談事業所１、市町村委託事業（只見町）通所事業１を前年度より拡充を図った上で行った。相談支援事業に関しては施設利用者の他、在宅者に対する支援が中心となり、事業展開を行っている。

各事業所の詳細で報告すると、障がい者支援施設あかまつ荘においては、「施設から地域へ」を主眼に置いて地域生活移行にも努力し、２名の方の地域移行をすることが出来たことと、今後も本人の意思を尊重しつつ地域生活移行を促進し、利用希望者の早期受け入れを行っていきたい。

グループホームに関しては施設利用希望者が多くあることと、一般就労を目指す方に対する利用促進も含めて只見町の「こまどり荘」の開所にて６か所となった。まだ、定員満床とまではいかないが希望者等を含めて早い段階で満床となるように取り組んでいきたい。

下郷作業所ホイップにおいては、就労継続支援Ｂ型事業と就労移行支援事業と二つの事業を行い、多機能型として事業展開をしている中で、２９年度も一般就労をめざし企業開拓と実習を行った。年度内に就職までは結び付かなったが、企業より採用に向けて前向きな回答を頂くところまで取り組むことが出来た。今後に向けては、障がいの重い方の利用も視野に入れて、通所の生活介護事業所等の事業展開を検討して行きたい。

只見町地域活動支援センターについては、契約者は定員を超えているが、日常的に利用されている方が一日 10 名を割り込んでいる状態である。そのような中でも只見町との協議において前年度同様に運営費の増額が認められ、さらなる事業展開への期待が寄せられていると認識されるため、今後の利用促進を図る意味で事業所の周知と併せて啓蒙活動を行う必要があると思われる。職員の動きとして、年度当初は３名体制で取り組んでいたが、冬期間の送迎と除雪体制等で１名採用したことにより４名体制で行った。新規採用職員に関して、マニュアルに沿って真面目に真剣に取り組んでいる姿勢が見られる。反面、経験が浅いという事もあって利用者への支援内容等に困惑しているところが見受けられた。今後、研修や実績を積むことで解決できると思われる。

２、理事会・評議員会・監事監査の開催

理事会回数	開催日	出席者人数	議　題
第１回理事会	平成２９年4月1日	理事６名 書面審議	・社会福祉法人南陽会理事長の選任について
第２回理事会	平成２９年5月３１日	理事６名、 監事２名	・平成２８年度社会福祉法人南陽会事業報告について ・平成２８年度社会福祉法人南陽会収支決算報告について ・平成２８年度社会福祉法人南陽会一般会計補正予算(第一次)について ・障害者支援施設あかまつ荘運営規程の一部改正について ・障害者支援施設あかまつ荘短期入所運営規程の一部改正について ・社会福祉法人南陽会評議員会開催日の選定について
第３回理事会	平成２９年6月１６日	理事６名 監事１名	・社会福祉法人南陽会理事長の選任について ・社会福祉法人南陽会副理事長の選任について
第４回理事会	平成２９年9月２９日	理事６名 監事２名	・社会福祉法人南陽会就業規則の一部改正について ・社会福祉法人南陽会地域生活支援事業所こまどり荘運営規程の制定について
第５回理事会	平成２９年１２月１５日	理事６名 監事２名	・社会福祉法人南陽会定款の一部改正について ・社会福祉法人南陽会ハラスメント防止規定の制定について ・社会福祉法人南陽会就業規則の一部改正について ・評議員会の開催日時について
第６回理事会	平成３０年3月２６日	理事６名 監事１名	・平成２９年度社会福祉法人南陽会一般会計補正予算（案）（第２号)について ・平成３０年度社会福祉法人南陽会事業計画(案)について ・平成３０年度社会福祉法人南陽会一般会計収支予算(案)について ・社会福祉法人南陽会経理規程の一部改正について ・社会福祉法人南陽会こまどり荘運営規程の一部改正について ・社会福祉法人役員賠償責任保険について ・社会福祉法人南陽会評議員会の開催について

評議員会回数	開催日	出席者人数	議　題
第１回評議員会	平成２９年６月１６日	評議員 10 名	・社会福祉法人南陽会理事の選任について ・社会福祉法人南陽会監事の選任について ・平成２８年度社会福祉法人南陽会事業報告について ・平成２８年度社会福祉法人南陽会一般会計収入支出決算について ・平成２９年度社会福祉法人南陽会一般会計収入支出補正予算（第１号）について
第２回評議員会	平成２９年 12月22日	評議員 13 名	・社会福祉法人南陽会定款の一部改正について ・社会福祉法人南陽会ハラスメント防止規定の制定について ・社会福祉法人南陽会就業規則の一部改正について ・社会福祉法人南陽会役員報酬の承認について
第３回評議員会	平成３０年３月２６日	評議員 16 名	・平成３０年度社会福祉法人南陽会事業計画(案)について ・平成３０年度社会福祉法人南陽会一般会計収支予算(案)について ・社会福祉法人南陽会経理規程の一部改正について ・社会福祉法人南陽会こまどり荘運営規程の一部改正について ・社会福祉法人役員賠償責任保険について
法人監査	**開催日**	**出席者人数**	**議　題**
法人監査	平成２９年　５月２６日	監事２名	法人業務監査

３、研修関係

開催月	研修内容	出席者
４月	県知的障害施設協会役員会、田島第二小学校入学式 福島県社協障がい施設連絡協議会総会 県サポート協会監事監査・役員会、精神保健福祉協会総会・役員会、会津若松社会保険委員会南会津支部定例会	施設長 事務長
５月	県サポート協会代議員総会、南会津町社協評議員会、田島第二小学校運動会、下郷町社会福祉協議会理事会	施設長
６月	安全運転管理者協会総会、 南会津地方自立支援協議会	施設長 サービス管理責任者
７月	交通安全運転管理者講習会 会津雇用連絡協議会、県知的障害施設協会三役会・役員会 福島県福祉監査課集団指導	施設長 サービス管理責任者
８月	昭和電工表彰式、日本知的障害福祉協会障害者支援施設部会 県知的障害者福祉協会障害者支援施設部会、南会津地方自立	理事長、施設長 施設長

	支援協議会、下郷町手をつなぐ親の会交流会	GH 職員
９月 １０月	福島県ペアレントプログラム研修会、南会津地方広域自立支援協議会運営会議、長野地区老人会、下郷町社協理事会 長野消防団検閲式慰労会、福島県手をつなぐ親の会県大会	施設長・相談支援専門員 施設長・担当職員 理事長・施設長・職員・保護者会会長
１１月 １２月	下郷町介護保険運営会議、南会津町社協評議員会 県知的障害施設協会役員会・総会 下郷町社協理事会、全国サポート協会東北ブロック大会 東北地区知的障害者福祉協会理事会	施設長
１月 ２月	只見町長表敬訪問、日本知的障害福祉協会障害者支援施設部会、二者合同研修会、福島県地域生活拠点担当者会議、福島県災害対策説明会、県施設協会人権倫理委員会管理者研修、福島県障がい者施策推進協議会、南会津地方広域自立支援協議会、下郷町介護保険協議会	施設長 理事長、施設長 専門生活支援員 施設長、相談支援専門員
３月	日本知的障害福祉協会部会協議会 田島第二小学校卒業式、西郷養護学校卒業式	施設長

４、補助金関係

補助事業名	内　容	交付決定・補助金交付日	補助金額総額	工事・事業完了・納品日
社会福祉施設等(自立支援関連施設)施設整備費補助金事業	グループホームこまどり荘建設資金補助金	交付決定日 平成２９年1月２５日	補助金額 15,399,000 円	工事完了日 平成29年10月 4日
只見町福祉施設等育成導入促進事業	グループホームこまどり荘建設資金補助金	交付決定日 平成２９年3月１３日	補助金額 25,930,000 円	工事完了日 平成29年10月 4日
只見町福祉施設等育成導入促進事業	グループホームこまどり荘備品購入補助金	交付決定日 平成２９年3月１３日	補助金額 2,500,000 円	納品日 平成３０年3月３１日
福島県共同募金会	下郷作業所ホイップ 備品購入補助金(ﾄﾞｳｺﾝﾃﾞｨｼｮﾅｰ)	交付決定日 平成２９年４月１日	1,410,000 円	納品日 平成２９年5月３１日
福島県共同募金会	只見地活センター 備品購入補助金(冷凍ストッカー)	交付決定日 平成２９年４月１日	90,000 円	納品日 平成２９年5月２６日

５、寄付

項　目	内　容
保護者　菅野顕光 様	100,000 円
菅家芳雄　様	5,000 円

６、登記事項・定款変更

月　日	項　目	金　額
平成 29 年 6 月 21 日	資産総額変更	477,167,906 円
平成 29 年 4 月 13 日	理事長就任登記	
平成 29 年 6 月 29 日	理事長重任登記	
平成 29 年 4 月 1 日	社会福祉法人制度改正に伴う法改正のための定款変更	
平成 29 年 12 月 22 日	社会福祉法人制度改正に伴う法改正のための定款変更	

７、人事管理

月　日	内　容（退職者・新規者・異動・正規職員採用など）
①　退職者５名 （臨時職員５名）	４月退職　臨時調理員１名（あかまつ荘） ５月退職　臨時調理員１名（あかまつ荘） 12 月退職　臨時調理員１名（あかまつ荘） ２月退職　臨時調理員１名（あかまつ荘） ３月退職　臨時職員　１名（只見地活センター）
②　新規採用者１１名 （臨時職員１１名）	４月採用　臨時調理員２名（あかまつ荘）臨時世話人１名（ＧＨ） ６月採用　パート事務員１名（あかまつ荘） ９月採用　臨時支援員１名（ホイップ） 10 月採用　臨時調理員１名（あかまつ荘） 11 月採用　臨時調理員１名（あかまつ荘）臨時世話人１名（こまどり荘） ２月採用　臨時支援員１名（あかまつ荘）臨時支援員１名（ホイップ） 臨時支援員１名（こまどり荘）
③　正規職員へ登用	４月１日付け登用２名　　生活支援員(ホイップ)、相談支援員(相談センター)

８、福利厚生

項　目	内　容
健診・予防注射代負担	定期健康診断及びインフルエンザ予防注射代を負担した
職員クラブへの助成	歓送迎会、新年会の助成を実施した
職免休暇、資格報奨金	資格取得推進ため研修日の職免休暇付与、資格取得報奨金を支給した
職員処遇の配慮	職員用駐車場を借り上げした（下郷町楢原地区）
職員宿舎の借り上げ	冬期間の借り上げ（只見町より無償）、常時の借り上げ（理事長より低額）

９、財務管理

項　目	内　容
会計管理体制の整備 ・運用状況の点検	安定的に継続した活動が行えるように、宍戸会計事務所に財務会計に関する事務（決算事務、帳簿）の定期的なサポートを委任したことと、経理実務経験者を１名増員し、安定的な業務を行った。

１０、主な施設・設備等の整備

項　目	内　容
あかまつ荘	高圧気中開閉器交換、公用車１台廃車
下郷作業所ホイップ	公用車１台廃車・１台納車、ドウコンディショナー購入

ＧＨすみれ荘	特になし
相談センター	特になし
只見地活センター	冷凍ストッカー設置
こまどり荘	こまどり荘建設 建設費 61,560,000 円　設計監理費 5,691,600 円　外構工事 7,020,000 円 備品購入費 2,606,405 円

１１、法人全体の共通の取り組み

（１）人権擁護委員会

①活動内容

・「職員倫理綱領」、「職員行動規範」、「虐待防止マニュアル」の周知、定期的な聞取り、点検を実施

・虐待防止チェックリストの記入並びに集計（平成２６年４月、平成２７年２月）

・権利擁護研修への参加

②年間実施内容

開催月	内　容	備　考
毎月	各事業所にて人権擁護に関する内容を確認	全職員
４月	第１回　人権擁護委員会（事業報告）	人権擁護委員
６月	障がい施設協会人権倫理委員会	担当者研修に参加、伝達講習の実施
H28．２月	第２回　人権擁護委員会（事業報告・計画）	人権擁護委員

（２）苦情解決委員会

①活動内容

・各事業所にて毎月のスタッフ会議にて苦情受付、内容検証、経過追跡、最終結果の確認を行い、適切な対応に努めた。

②年間実施内容

開催月	内　容	備　考
毎月	各事業所にて苦情解決に関する内容を報告、確認	全職員

（３）法人全体その他の委員会

名　称	業　務　内　容	実施時期
給食委員会	食事に関すること（給食委員）	毎月のスタッフ会議
保健委員会	保健衛生、感染症予防に関すること（保健委員）	毎月のスタッフ会議

（４）法人全体・共通の会議・研修等

名　称	業　務　内　容	実施時期
＜法人会議・研修＞		
職員会議	法人全職員に関する会議（全職員）	１１月、３月
あかまつ荘職員会議	あかまつ荘の職員会議（支援員、事務厨房、看護・栄養士）	毎月
法人全体研修	法人全職員での研修（全職員）	５月
運営会議	法人事業の運営会議（理事長、管理者、専門生活員、主任生活員）	毎月
代表者会議	管理・主任職員の会議（管理者、専門生活員、主任生活員、副主任生活員）	１０回
事業所会議	各事業所の報告、予定、伝達会議（各事業所担当者）	９回
＜事業所毎の会議・研修＞		
支援会議	利用者支援に関する会議（各事業所内の職員）	毎月

スタッフ会議	各事業所での行事予定、課題検討（各事業所内の職員）	毎月
伝達講習会議	各事業所での伝達講習（各事業所内の職員）	毎月
申し送り	各事業での朝・夕の申し送り（各事業所内の職員）	毎日
＜利用者、保護者の会議＞		
自治会	利用者自らの主体的な企画・運営（利用者、担当職員）	毎月
保護者会	保護者の親睦・交流、事業所支援 ●　４月　５日：役員会　●４月２７日：お花見・総会 ●　６月　７日：奉仕活動　●８月２４日：花火大会 ●１０月２５日：収穫祭　●１１月８日：奉仕活動 ●１２月２０日：クリスマス・忘年会 ●　２月１９～２０日：二者合同研修会	８回

《各事業所　事業報告》

障害者支援施設　あかまつ荘

１、事業概要

施設入所支援	施設に入所されている方々の夜間や休日において入浴、排泄、食事の介護等や余暇支援を提供した
生活介護	常に介護を必要とする方に入浴、排泄、食事の介護等を提供すると共に創作活動又は、生活活動の機会を提供した
短期入所	在宅生活者の疾病その他の理由により、短期間の入所を必要とする利用者に入浴排泄及び食事の介護その他の必要な支援を提供した

２、職員配置

事業所名	職種	員数	常勤		非常勤		備考
			専従	兼務	専従	兼務	
障害者支援施設あかまつ荘	管理者	1		1			
	専門生活支援員		1				
	サービス管理責任者	1	1				
	生活支援員	8	7				
	作業指導員		4		3		非常勤：8時間以内勤務
	事務	2	2				
	看護師	3	1	1	1		
	栄養士	1	1	1			
	厨房	4	4	4			
合計		２７	２１	7	4		

（平成２９年３月末現在）

３、利用者の状況（平成３０年３月末現在）

（１）利用者数

事業名／性別	男性	女性	合計
施設入所支援	２６人	１８人	４４人
生活介護	２６人	１６人	４２人
短期入所	１人	１人	２人

（２）障害状況

ア障害名

事業名／種別	身体	知的	精神	その他	合計
施設入所支援	１４人	３９人	３人	０人	５６人
生活介護	１３人	３６人	４人	０人	５３人
短期入所	０人	１人	１人	０人	２人

※重複障害者を含む

イ障害支援区分

事業名／区分	区分１	区分２	区分３	区分４	区分５	区分６	区分なし	平均
施設入所支援	０人	０人	５人	１３人	１７人	９人	０人	４．７
短期入所	０人	０人	０人	０人	０人	２人	０人	

（３）年間利用状況

事業名／利用項目	延べ利用日数	定員	延べ利用人数	利用率
施設入所支援	３６５日	４５人	１６，３９５人	９９．８％
生活介護	２４５日	４５人	１１，０２５人	１００％
短期入所	３６５日	４人	１，０９５人	７５．０％

４、提供したサービス内容

活　動　名	活　動　内　容
個別支援計画の作成	利用者ニーズを把握・反映し、利用者の意向に沿った支援を提供した
食事の提供	利用者の状態や疾病、ニーズに合った喜ばれる食事の提供、衛生管理の徹底を図った
身体機能及び日常生活能力の維持、向上の支援	残存機能の維持と生活動作の確保、入浴・排泄・身体等の介護を提供した
創作活動	軽作業を通して利用者が目的を持って取り組む事により、集中力や持続力を高められる支援を提供
生活相談	利用者・家族の方々の生活全般の相談援助
健康管理	利用者の健康維持の為、個々の障がい程度や健康状態を把握し、バイタルチェック、定期検診、感染症予防対策に努めた
緊急時・非常災害時における対応と対策（事故対策）	火災等の非常災害時に備え、防災マニュアルに基づき事前対策や定期防災訓練を実施した
職員の資質の向上（研修の強化）	各種研修会への積極的な参加、施設内での伝達講習会にてサービスの質の向上及び対人援助技術のスキルアップ等を実施した
余暇活動（ボランティア・趣味・教養娯楽）	個々の要望に応じた余暇支援・ボランティアさんとのふれあい活動を提供した
送迎の支援	買い物支援、定期受診などの送迎支援の提供をした

５、班別活動

	項　目	活　動　内　容
「いきいき班」	作業活動	園周辺の環境整備 手工芸等の創作活動を提供した
	レクリエーション	軽運動・カラオケ等のレクリエーションを提供した
「さくら班」	機能訓練 生活介護訓練	身体機能、体力、生活能力の維持活動 食事・排泄・移動・整容・保清のための介護を提供した
	健康衛生管理	体温・体重・血圧測定を実施し看護師と連携して健康管理にあたった。汚物処理、感染症対策を職員間で徹底、うがい手洗いを励行した
	レクリエーション	軽運動・カラオケ等のレクリエーションを提供した

６、主な行事

４月	お花見・保護者会総会	１０月	南陽会収穫祭
５月	田島第二小学校運動会　県スポーツ大会	１２月	クリスマス会・忘年会
７月	田島祇園祭（オプション）	１月	新年会・だんごさし
８月	花火大会	２月	節分
９月	お月見	３月	ひな祭り

７、研修

実施月	研修内容
外部研修	
５月	社会福祉施設等職員初任者基礎研修、障がい福祉施設等基礎研修
６月	福島県強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)
７月	支援スタッフ委員会、社会福祉施設事務長研修会
８月	東北地区知的障害者福祉協会専門研修会プレ研修
９月	社会福祉施設栄養士研修
１０月	障がい者福祉施設職員研修
１１月	栄養情報提供書研修会、障がい児者福祉施設協議会研修会腰痛予防・介護技術習得研修
１２月	福島県強度行動障害支援者養成研修(実践研修)、福島県栄要改善学会
１月	虐待防止責任者・管理者等研修会
２月	知的障害者施設合同研修会
３月	サービス管理責任者等フォローアップ研修、あいいくえんフォーラム、自衛消防隊員教育
内部研修	各種研修会参加後に伝達講習会、法人全職員を対象に諸規定、人権擁護研修会を実施
自己啓発	講演会や研修会に自発的に参加できるように随時情報を提供した

８、ボランティア活動

『ボランティア依頼・協力』	●趣味サークルなどの指導や行事催し物（歌・踊り）の依頼 ふるさと民踊様（４月、９月、１０月、１２月、３月） 息吹様（１０月，１２月）、 大川そば打ち愛好会様によるそば打ち慰問

９、環境美化事業

活動時期	活　動　内　容
４月	駐車場清掃・軒下掃除
６月	第１回保護者合同奉仕作業（窓拭き・網戸取り付け・草刈り作業）
７月	下駄箱清掃（利用者の履物チェック）
９月～１０月	職員奉仕作業（草刈り・除草剤まき・園周辺の整理）
１１月	第２回保護者合同奉仕作業（網戸の取り外し・冬囲い）
１２月	大掃除（浴室・トイレ・洗濯場）
その他	屋外の大掃除・トイレ掃除・クモの巣駆除

１０、保健衛生

（１）利用者の健康維持推進	日々の健康状態を把握し、ご家族、病院と連携し利用者が健康で過ごせるように支援した
（２）感染症対策	感染症情報を把握し適切な処置・対応と発生防止に努めた
（３）安全衛生	清潔で快適な生活環境を保ち安全で快適な職場環境を整えた 職員の健康診断を行い生活習慣病の予防に努めた

保健医療機関での診察状況

診療科目	実人員/（人）		延診察日数/（日）		一人当たり平均診療日数	
	入院	入院外	入院	入院外	入院	入院外
内科系疾患	4	17	85	119	21.3	7
精神科	4	34	441	154	110.3	4.5
耳鼻科		2		19		9.5
皮膚科		8		9		1.1
婦人科	1	1		9	1	9
眼科		1		4		4
外科		2		37		18.5
歯科		6		59		9.8
泌尿器科		2		16		8
整形外科		7		32		4.6
計	9	80	526	458	58.4	5.7

利用者及び職員の定期健康診断の実施状況

＜利用者＞

期日	実施人員	検査内容	検査機関
5月23日	18名	乳がん検診	保健衛生協会
10月1日	58名	胸部レントゲン	保健衛生協会
	61名	心電図、血液検査	保健衛生協会
3月12日	63名	血液検査	保健衛生協会

＜職員＞

期日	実施人員	検査内容	検査機関
9月5日	36名	胸部レントゲン、心電図	福島二本松病院
	35名	血液検査、尿検査、視覚・聴覚検査	福島二本松病院
3月12日	13名	胸部レントゲン、血液検査（夜勤実施者）	保健衛生協会

１１、給食管理

① 楽しみのある食事を提供

利用者の声に応え、「楽しさ」「おいしさ」が感じられる食事提供に努めた

季節食や行事食を通して季節の味覚、地元の味を提供した

４月	お花見会（保護者会総会）：お花見弁当	１０月	収穫祭：しんごろう、豚汁、漬物
５月	子どもの日：ちらし寿司、誕生会	１２月	誕生会、忘年会＆クリスマス会
６月	ドライブ：外食または外注弁当	１月	お正月：こづゆ、おせち盛、煮しめ

７月	土用丑の日：鰻のちらし寿司、祇園祭	２月	節分：恵方巻き
８月	花火大会：夏野菜カレー、すいか、漬物	３月	ひな祭り、春彼岸、誕生会
９月	うさぎの森ドライブ：カレー、すいか		

② 一人ひとりの健康を支えた（個々の喫食状況に合わせた食形態を提供、ソフト食の導入）	
食事形態	人数
普通食	２６名
きざみ食	１３名（極きざみ１名含む）
ミキサー食	６名
合計	４５名

③ 食の安全に取り組んだ
利用者、職員共に衛生面に心がけ、食中毒、感染症対策に努めた ＜実施内容＞ ●関係職員の月１回の検便検査の実施（冬季間においてはノロウイルス検査の追加） ●取引業者の自主検査の提出依頼 ●毎日の水質検査・調理員の衛生、体調チェック等

１２、防災

【基本方針】	
○災害（火災、地震、風水害等）の際に速やかに対応ができる体制整備や減災のための事前対策に努め、災害発生直後における災害発生から避難誘導までの訓練を行ない、防災マニュアルを整備・点検し、非常時に対処する	
【 実施内容】	
＜体制整備・減災のための事前対策に努めた＞	
①立地条件と災害予測	施設の立地条件の把握と災害の予測について検討した
②災害時体制整備	役割分担、連絡体制を整備した
③情報整理	施設利用者情報を把握した
④基準等の策定	避難の判断、災害に応じた避難方法を検討した
⑤事前準備・安全対策	食糧等備蓄、施設の定期点検
⑥教育・訓練	職員への防災教育、防災訓練を実施した

【年間防災活動】

月	月 別 防 災 項 目	実 施 内 容
4	防火設備の点検	職員で防災マニュアルの確認・点検 スプリンクラー設置に伴う防火設備の確認
5	避難訓練（通報・避難誘導）	体制整備・減災のための事前対策の点検
7	避難訓練（通報・避難誘導）	避難経路、危険箇所、防災用具の点検
11	避難訓練（通報・避難誘導）	避難場所・経路の環境整備
1	避難訓練（通報・避難誘導）	冬期間の避難場所・経路の環境整備

１３、事故防止

実　施　項　目	活　動　内　容
リスクマネジメント	利用者の事故を未然に防止する為に、職員がリスクマネジメントに関する共通認識を持ち、ヒヤリハットレポートを活用し職場内での安全対策強化を進めた
送迎車両の運転	送迎車両の利用時など利用者の移動時に対する安全配慮（車両点検・安全運転）に努めた

下郷作業所ホイップ　事業報告

１、事業概要

就労移行支援	就労に必要な知識や体力を身に着け、一般企業への就労と自立を目指して取り組んだ
就労継続支援Ｂ型	自分達で作ったものを買ってもらうことで、賃金を得る喜びを感じると共に地域に暮らす一員としての役割を知ってもらい、その上で一般就労に結び付けられるような支援を目指し取り組んだ

２、職員配置

事業所名	職種	員数	常勤		非常勤		備考
			専従	兼務	専従	兼務	
下郷作業所ホイップ	管理者	1		1			南陽会施設長
	サービス管理責任者	1	1				
	就労支援員	1		1			
	作業指導員	4			4		臨時職員
	職業指導員	3			3		臨時・パート職員
合計		10.	1	2	7		

（平成２９年３月末現在）

３、 利用者の状況（平成２９年３月末現在）

（１） 利用者数

事業名／性別	男性	女性	合計
就労移行支援（パン班）	２人	０人	２人
就労移行支援（農耕班）	０人	０人	０人
就労継続支援Ｂ型（パン班）	２人	３人	５人
就労継続支援Ｂ型（農耕班）	12 人	10 人	22 人

（２） 障害状況

ア 障害名

事業名／種別	身体	知的	精神	その他
就労移行支援	０人	２人	０人	２人
就労継続支援Ｂ型	１人	19 人	９人	０人

イ障害支援区分

事業名／区分	区分１	区分２	区分３	区分４	区分５	区分６	区分なし
就労移行支援	０人	２人	０人	０人	０人	０人	０人
就労継続支援B型	０人	１２人	７人	０人	０人	０人	１０人

（３）年間利用状況

事業名／利用項目	開所日数	定員	延べ利用人数	利用率
就労移行支援	２４５日	６人	２３６人	１６．０％
就労継続支援Ｂ型	２４５日	２６人	５，０１２人	７８．０％

４、 提供したサービス内容

活　動　名	活　動　内　容
個別支援計画の作成	個別支援計画の作成、モニタリング、ケース会議を実施した
パン製造・販売活動	今までの納品先に加え、新たに下郷物産館、湯野上駅、リオンドール田島店への納品始まる。下郷町の特産品を使っての新商品を開発した
農作業・リサイクル活動 委託業務	物産館への野菜の納品始まる。アルミ缶は只見町の方々からも提供頂いた。南会津地区のトマト農家への援農活動を実施した 「株式会社おくや」より、ピーナッツの殻むき作業を行う委託契約をおこなった。
生活相談	相談センターの協力も得ながら、個々の相談に応じる。相談という形に拘らず、作業の空いた時間や利用者の話しやすい時に話しを聞くようにした
健康管理	その日の利用者個々の状態によって、検温、血圧測定等を行ないながら対応した
緊急時・非常災害時における対応と対策（事故対策）	避難訓練の実施、自然災害等における避難経路、危険箇所の確認した
職員の資質の向上 （研修の強化）	法人研修、外部研修、取引業者が行う商品開発勉強会へ参加した 作業内容の充実を図る為、６次化プランナーの方や会津豆倶楽部の代表者との商品開発や、作物の栽培についての話し合いを行ないアドバイスを頂いた
地域交流、ボランティア交流	下郷町、南会津町、只見町等のイベントで出店販売した
送迎の支援	湯野上地区、中妻地区、楢原地区、音金地区、十文字地区、長野地区田部原地区の朝夕の送迎対応した
利用者の工賃について	日額４００円×実働日数
障害者優先調達推進法に則り、物品や役務の提供	県の障がい者就労施設等物品等調達に登録し、情報提供した。関係機関のホームページにて閲覧可
一般企業への就労移行支援	ハローワーク、就労生活センターふろんてぃあの協力を得ながら職場実習、実習受け入れ先の開拓。リオンドール田島店職場体験実習、あかまつ荘厨房体験実習

５、班別活動

	大項目	小科目	活　動　実　績
農作業班	農　業	野菜栽培 地域特産品つくり	芋類、葉菜類、玉葱、豆類、花豆、千成ほおずきの栽培 トマト農家への援農作業
	リサイクル活動	アルミ缶のリサイクル ヨ　シ　編　み 手工芸品の販売	洗浄、乾燥、潰し後、昭和電工が回収
	創作活動		物産館、店舗内での販売、地域でのイベントでの販売、オーダーでの販売
	委託業務	落花生栽培等	喜多方市にある製菓業者より委託を受け、落花生の栽培や、殻剥きの完成品を納品する。
パン製造班	パン製造	仕込み・分割・成型・焼成・包装・配達	＜納品・販売先＞下郷町物産館、リオンドール田島店、湯野上駅、下郷保育所、湯野上保育所、あかまつ荘、祇園会館、あたご作業所、合庁、南会津病院、セコニック、郷の湯、南会津役場、南会津社協、大内宿 ※飲食店経営許可取得
	パン販売	接　客 販　売	

就労移行支援事業	就労学習・面接支援	履歴書の書き方や面接練習	
	一般常識の習得	接客マナーや言葉遣い等	
	実習・体験活動支援	リオンドール田島店にて職場体験実習実施	１名
	求人活動支援	あかまつ荘厨房採用	１名
	相談支援	就労定着支援	特老優雅、リオンドール

６、主な行事

８　月	バーベキュー
１１月	ドライブ行事（猪苗代方面）
１２月	クリスマス会
１　月	団子刺し

７、研　　修

外部研修	食品衛生管理者研修会、就労関係研修会、初任者研修
内部研修	法人研修参加

８、ボランティア活動

『ボランティア交流』	地域の保育所、小学校生徒との交流（パン教室など）
『ボランティア活動（奉仕活動）』	就労移行班の利用者を中心とした、近隣歩道のゴミ拾い 花いっぱい運動事業への参加

９、環境美化事業

活動時期	活　動　内　容
４　　月	施設周辺のゴミ拾い等
８　　月	店舗、厨房内、食堂、作業室内大掃除
１２月	大掃除
そ　の　他	施設周辺の除草作業

１０、保健衛生

（１）利用者の健康維持推進	手洗い・うがいの励行、利用者の体調に応じての血圧・体温測定
（２）感染症対策	手洗い・うがいの励行・利用者・職員の体調チェック
（３）安全衛生対策	手洗い・うがいの励行、厨房作業時・食事の配膳時のマスク着用
（４）職員の医療的ケアの向上	本体、看護師からのアドバイス

１１、食品衛生管理

【基本方針】
○食品衛生管理に細心の注意を払う ○食中毒防止のための衛生管理の徹底と事故防止対策の強化
【内容】
①食の安全に取り組んだ 利用者、職員共に衛生面に心がけ、食中毒、感染症対策に努めた

＜実施内容＞
手洗い・うがいの励行、利用者・職員の体調不良時の対応
トイレ掃除の励行（一日３回、必要に応じて）

１２、防　　災

【基本方針】
○災害（火災、地震、風水害等）の際に速やかに対応ができる体制整備や減災のための事前対策に努め、災害発生直後における災害発生から避難誘導までの訓練を行ない、防災マニュアルを整備・点検し、非常時に対処する
【 内容 】
避難訓練、消防署の立ち入り調査、職員による避難誘導の確認、避難誘導時の危険箇所の確認

【年間防災活動】

月	月　別　防　災　項　目	実　施　内　容
4	厨房内の機材点検	業者のメンテナンスチェック
5	職員の避難訓練	自然災害を含めた、地区の避難場所と避難経路の確認
6	避難訓練	非常口の確認
8	厨房内の機材点検	業者のメンテナンスチェック
9	消防署立ち入り調査	消防署員による非常ベル等の点検と確認
11	暖房器具点検	暖房器具の使用前の安全点検
3	暖房器具の点検と掃除	職員による確認と掃除

１３、事故防止

実　施　項　目	活　動　内　容
リスクマネジメント	利用者の事故を未然に防止する為に、職員がリスクマネジメントに関する共通認識を図った。
送迎バス等車両の運転	車両の点検、送迎担当職員の安全確認に努めた 送迎車両運転者講習会への参加

地域生活援助 すみれ荘事業報告

１、事業所概要

（１）場　所　　共同生活住居５ホーム

共同生活援助　すみれ荘　定員　５名	下郷町湯野上字居平乙８３６－３－２ 主たる事業所と共同生活住居
共同生活援助　さくら荘　定員　６名	下郷町豊成字楢原２１１４ 共同生活住居
共同生活援助たんぽぽ荘　定員　６名	南会津町田島字田部原４１－２ 共同生活住居
共同生活援助ひまわり荘　定員　５名	下郷町豊成字楢原２４８９ 共同生活住居
共同生活援助　いちごハウス　　５名	南会津町田島字北下原３１－２ 共同生活住居

（２）サービス内容・定員　介護サービス包括型事業（共同生活援助事業）　定員２７名

介護サービス包括型事業（共同生活援助事業）	自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう、利用者の身体及び精神の状況に応じて共同生活をおくる居住において、入浴・排泄の援助、食事や洗濯、掃除などの家事、生活に関する相談を提供した。

２、職員配置

事業所名	職種	員数	常勤		非常勤		備考
			専従	兼務	専従	兼務	
すみれ荘	管理者	1		1			
	サービス管理責任者	1	1				
	生活支援員	1	1				
	世話人	7			7		非常勤：7時間勤務
合計		１０	2	1	7		

（平成３０年３月末現在）

３、利用者の状況（平成３０年３月末現在）

（１）　利用者数

事業名／性別	男性	女性	合計
すみれ荘　　定員　５名	３人	０人	３人
さくら荘　　定員　６名	０人	３人	３人
たんぽぽ荘　定員　６名	６人	０人	６人
ひまわり荘　定員　５名	４人	０人	４人
いちごハウス定員　５名	０人	３人	３人

（平成３０年３月末現在）

ア　障害名

事業名／種別	身体	知的	精神	その他
すみれ荘　　定員　４名	０人	２人	１人	０人
さくら荘　　定員　６名	０人	３人	０人	０人

たんぽぽ荘　定員　６名	０人	５人	１人	０人
ひまわり荘　定員　５名	０人	２人	２人	０人
いちごハウス定員　５名	０人	２人	１人	０人

イ 障害支援区分

事業名／区分	区分１	区分２	区分３	区分４	区分５	区分６	区分なし
すみれ荘	０人	０人	０人	０人	０人	０人	３人
さくら荘	０人	０人	３人	０人	０人	０人	０人
たんぽぽ荘	０人	１人	０人	０人	０人	０人	５人
ひまわり荘	０人	１人	１人	１人	０人	０人	１人
いちごハウス	０人	０人	１人	０人	０人	０人	２人

（２）利用者の動き

入所／退所	男性	女性	合計	備考
入所　　２名	２人	０人	２人	たんぽぽ荘へ
退所　　３名	２人	１人	３人	すみれ荘　１名…１０月、県外の病院へ入院 さくら荘　　１名…２月、あかまつ荘へ入所 ひまわり荘　１名…２月、こまどり荘へ入所

（３）年間利用状況

事業名／利用項目	開所日数	定 員	延べ利用人数
すみれ荘	３５７日	５人	１７８５人
さくら荘	２９７日	６人	１７８２人
たんぽぽ荘	３６５日	６人	２１９０人
ひまわり荘	３６５日	５人	１８２５人
いちごハウス	３６５日	５人	１０９５人

４、 提供したサービス内容

活動名	活動内容
個別支援計画の作成	利用者ニーズを把握・反映し、利用者及び家族の移行に沿った支援を提供した
食事の提供	利用者の状態や疾病、ニーズに合った喜ばれる食事の提供 衛生管理の徹底を図った
身体機能及び日常生活能力の維持、向上の支援	残存機能維持と生活動作の支援を実施した 入浴・排泄・身体等の介護を実施した
夜間体制支援（夜勤）従事者による支援	夜間支援（夜勤）従事者を配置し、夜間の時間帯を通じて定時ホーム内巡回や緊急時の支援等を提供した
夜間体制支援	夜間の連絡体制を確保し（あかまつ荘・サービス管理責任者専用携帯・警備会社委託)、安全な生活を提供した
生活相談	利用者・家族の方の生活全般の相談援助を実施した
健康管理	利用者の健康維持のため、個々の障がい程度健康状態を把握し、バイタルチェック、定期健診、感染予防、ホーム内の消毒に努めた
緊急時・非常災害時における対応と対策（事故対策）	火災・地震・水外套の非常災害時に備え、防災マニュアルの確認 連動式火災報知機を設置した

職員の資質の向上（研修の強化）	各種研修会への積極的な参加、施設内の伝達講習会にてサービスの質の向上及び対人援助技術のスキルアップ等を計画的に実施。月２回のケア会議で諸問題に対する世話人間の共通認識を図った
地域住民との連携	地域行事、活動に参加し、住民との交流を通して障がいへの理解が深まるよう努めた
余暇活動	余暇の有意義な過ごし方について外出支援等を行なった
送迎の支援	買い物支援、定期受診など送迎支援を提供した

５、主な行事

４月	お花見・保護者会総会	１０月	グループ旅行
５月	ＧＨ顔合わせ会	１１月	外出支援
６月	ドライブ・買い物	１２月	クリスマス・忘年会　＊各ホーム毎
７月	会津田島祇園祭	１月	外出支援
８月	外出支援	２月	外出支援
９月	グループ旅行	３月	外出支援

６、研　　修

内部研修	・平成２９年１１月１７日（会津若松市）　居住系ワーキンググループ研修会（８名） ・平成２９年１１月２９日（本宮市）　福島県知的障害者福祉協会地域支援研修会（１名）
内部研修	①各種研修会に参加した内容の伝達講習会の実施 ②業務チェックシートを使用し、日々の支援・業務の進め方を確認、反省
自己啓発	①講演会や研修会に自発的に参加できるよう随時情報を提供した

７、ボランティア活動

『ボランティア交流』	地域行事、活動に積極的に参加して、住民との交流を通して障がいへの理解が深まるよう努めた
『ボランティア活動（奉仕活動）』	地域の環境美化（ゴミ拾い）に努めた

８、環境美化事業

活動時期	活　動　内　容
４　月	各ホーム内清掃・周辺清掃
９　月	各ホーム内清掃・周辺清掃
１２月	雪囲い・大掃除
その他	各ホーム内清掃・トイレ掃除は世話人・利用者（当番制）で実施した

９、保健衛生

利用者の健康維持を推進	○日々の健康状態を把握し、ご家族と連携し利用者が健康で過ごせるよう支援した ○ご家族、病院との連携を密にし、体調の変化に応じて速やかな対応に努めた ○利用者への健康診断（血液検査・胸部レントゲン検査等）を実施し利用者へ診断結

	果の情報を提供するし必要時、嘱託医より結果説明・指導を行なった
感染症対策	○流行の感染症を把握し、適切な処置・対応（予防接種の実施、感染症マニュアルに沿ったケア等）を実施し、各ホーム内での発生予防に努めホーム内の消毒に勤めた。 ○感染症発生時には発生状況の把握、感染症による重症化・合併症の予防に努めた
安全衛生対策	○清潔で快適な生活環境を保ち、安全で快適な職場環境を整えた ○職員の健康診断を行ない、生活習慣病の予防に努めた
職員の医療的ケアの向上	○応急処置、感染症予防対策マニュアルの配置。

１０、 給食管理

【基本方針】
○利用者個々の状態や疾病に適した食事の提供 ○利用者のニーズに合った喜ばれる食事の提供 ○食中毒防止のための衛生管理の徹底と事故防止対策の強化
【内容】
①楽しみのある食事の提供した ＜実施内容＞ ●利用者の声に応え、「楽しさ」「美味しさ」が感じられる食事提供に努めた ●季節食や行事食を通して季節の味覚、地元の味を伝えていくよう工夫した ●利用者の誕生会では希望食を取り入れ、楽しんで食事の時間を過ごすよう心掛けた
②一人ひとりの健康を支えた ＜実施内容＞ ●一人ひとりの喫食状況に合わせた食形態を提供し、糖尿病や高血圧の利用者にも食べやすいメニューを提供した
③食の安全に取り組んだ ＜実施内容＞ ●利用者、職員共に衛生面に注意し、食中毒、感染症対策に努めた

１１、防　　災

【基本方針】
○災害（火災、地震、風水害等）の際に速やかに対応ができる体制整備や減災のための事前対策に努め、災害発生直後における災害発生から避難誘導までの訓練を行ない、防災マニュアルを整備・点検し、非常時に対処する。
【 内容 】
○防災設備の点検、連動式火災報知器の設置等は行なうことができたが、各ホーム毎の避難訓練までは取り組むことが出来なかった。

【年間防災活動】

月	月　別　防　災　項　目	実　施　内　容
4	防災マニュアルの点検・整備防火設備の確認	職員で防災マニュアルの確認・点検防火設備を点検
１１	消防署立ち入り調査	防災用具等の確認
3	防災設備の整理	連動式火災報知器への交換と設置

１２、事故防止

実　施　項　目	活　動　内　容
リスクマネジメント	利用者の事故を未然に防止する為、職員がリスクマネジメントに関する共通認識を持ち、ヒヤリハットレポート等を活用し職場内での安全対策強化を進めた
緊急時等における対応方法	共同生活援助の提供を行なっている時に利用者に病状の急変が生じた場合、その他必要な場合は速やかに医療機関へ連絡を行なう等の必要な措置を講じた
夜間体制支援	夜間及び深夜の時間帯を通じて、利用者に緊急の事態が生じた時に、利用者の呼び出し等に速やかに対応できるよう常時の連絡体制を確保（あかまつ荘、サービス管理責任者、警備会社委託）するとともに緊急時の連絡先、連絡方法を共同生活住居の見やすい場所に掲示した
送迎車両の運転	送迎車両の利用時等、利用者の移動時に対する安全配慮（車両点検、安全運転）に努めた

只見地域活動支援センターじねぇんと事業報告

１、事業概要

地域活動支援センターⅠ型	地域活動支援センター「じねぇんと」は障害者総合支援法に基づいた市町村が実施する、地域生活支援事業の委託を受けて設置されたものである。地域で生活する障がい者の自立した日常生活、社会生活を実現するための相談や支援を行うとともに、生産活動や創作的活動及び地域交流活動、日常生活活動への支援を行うことで、障がい者の自立及び社会参加の促進を図る。

２、職員配置

事業所名	職種	員数	常勤		非常勤		備考
			専従	兼務	専従	兼務	
只見地域活動支援センターじねぇんと	所長	1	1				(こまどり荘サビ管兼務)
	生活支援員						
	作業指導員	3	3				非正規職員
合計		4	4				

（平成３０年３月末現在）

３、 利用者の状況（平成３０年３月末現在）

（１） 利用者数

	男性(児童)	男性（成人）	女性（児童）	女性(成人)	合計
只見地域活動支援センターじねぇんと	３人	１３人	３人	１０人	２９人

（２） 障害状況

ア 障害名（重複者含む）

	身体	知的	精神	その他
只見地域活動支援センターじねぇんと	６人	１５人	８人	１人

イ 年齢層

	０～５歳	６～１２歳	１３～１８歳	１９～３０歳	３１～５０歳	５１～６５歳	６５歳以上	平均年齢
只見地域活動支援センター	０人	１人	３人	４人	１２人	５人	４人	４２歳

（３）年間利用状況

	開所日数	定員	延べ利用人数	利用率
只見地域活動支援センター	２３９日	２０人	１，８４６人	３９％

４、 提供したサービス内容

活動名	活動内容
軽作業	布巾作りを中心に手差し等の裁縫やアクリルたわし作りを行い、農作業として無償で借りた畑では、さまざまな野菜を栽培して調理実習や行事等での食材として活用した。

花壇管理委託業務	電源開発（株）より委託を受け、6月～10月までの間、月に一度の展示館周りの花壇の維持管理（草むしり、追肥等）を行った。
凍み餅の製造・販売	ユネスコエコパーク伝承産品事業に参画し、1月より仕込みを行い乾燥後は梱包して、観光協会や季の里湯ら里の売店等で販売を行った。
リサイクル事業	喜多方市にある荒川産業、NPO法人くるりんこの委託業務として、不要になった配線の剥離作業を行い、工賃は作業に従事した利用者に還元した。
軽スポーツ	天気の良い日にはウォーキングを行い、室内ではボールを使ったゲームや輪投げ等で体を動かした。
学習活動	調理実習や書き取り、塗り絵、貼り絵、カード合わせ等を行い、個々の能力に合わせた内容を取り入れて、皆で楽しく活動を行った。
利用者交流	南会津町社協主催の「にこにこあいあいの集い」に参加した。
地域交流	8/27福祉の里夏まつり、11/3町文化祭、3/4朝日のいいもの集めちゃった市に出店した。
就労支援	就労に関する相談や人間関係等に関する相談への支援を行った。
相談支援	来所してもらったり電話での相談受付を行ったり、みなみあいづ相談支援センターと連携して支援し、解決策を検討した。
健康管理	毎週月曜日と金曜日の朝にバイタルチェックを実施した。(体重、血圧)
緊急時・非常災害時における対応と対策（事故対策）	緊急時や災害時の避難方法について、必要に応じて利用者に説明を行い、消防署より指導を受け、同建物内の只見町社協等と連携を図り、避難誘導や対応について統一性を図った。
職員の資質の向上（研修の強化）	職員の資質向上のためのチェックリストの活用や研修会等へ参加し、それを基にスタッフ会議等で話し合い、意識の共有化を図った。
送迎の支援	町外からの利用者、小中学生の放課後利用の際の送迎を実施した。
ボランティア育成	毎月ボランティアの方との交流行事を取り入れ、障がい者に対しての理解促進と支援体制強化への協力を図った。

5、主な行事

5月	5/9 大掃除・お花見会　16名参加	10月	10/6 食事会　17名参加
6月	6/13 花壇管理（花植え）13名参加	11月	11/3 只見町文化祭出店
	6/23 ドライブ行事　17名参加		11/24 大掃除 11名参加
8月	8/2 バーベキュー会　25名参加	12月	12/25　クリスマス会　29名参加
	8/27 福祉の里夏まつり大会出店	3月	3/4 朝日のいいもの集めちゃった市出店

6、 研修

外部研修	食品衛生責任者養成講習会
内部研修	職員合同研修会

7、環境美化事業

活動時期	活　動　内　容
5月	駐車場掃除、エアコンフィルター掃除、ガラス磨き、くもの巣取り等を行った。

１０月	花壇管理業務終了後、展示館周りの清掃やゴミ拾いを実施した。
１１月	エアコンフィルター掃除、駐車場の落ち葉拾い、側溝の土砂上げ等を行った。

８、保健衛生

（1）利用者の健康維持推進	毎週月曜日と金曜日の朝礼後、バイタルチェックとして体重、血圧測定を行い、利用者の健康管理の把握に努めた。
（2）感染症対策	手洗いうがいの実施、登所時や外出後は手を消毒してから入ることを心がけた。

９、食品衛生管理

【活動内容】

①調理実習

4/26、6/27 に実施した。

②ボランティア調理実習

7/7、1/12 に実施した。

③地域イベント出店

8/27 福祉の里夏まつり、11/3 只見町文化祭、3/4 朝日のいいもの集めちゃった市に出店し、五目ふかしを販売した。

＜実施内容＞

●調理実習等で食品を扱う際は、利用者・職員・ボランティアさんに、食中毒や感染症予防のため、エプロン、マスク、三角巾、手袋の着用を徹底した。

１０、防災

【防災活動】

月	実　施　項　目	活　　動　　内　　容
５月	火気器具の確認、避難時の方法説明	避難経路、器具の設置場所の確認、器具の使用状況や不具合等の確認、利用者への説明等を行った。
10 月	危険箇所の確認、修繕	室内、通路、廊下等の落下物や転倒物の点検、危険箇所や破損状況を確認し、必要な部分については点検及び修繕の検討を図った。

※避難訓練等については、只見町社協と合同で立案・実施するよう検討した。

１１、事故防止

実　施　項　目	活　　動　　内　　容
リスクマネジメント	危険箇所の把握と、修繕を必要とされる箇所については町へ協議し、修繕を依頼した。
送迎バス等車両の運転	送迎業務を行う職員に対しての安全運転と、全座席のシートベルト着用の徹底を周知した。

みなみあいづ障がい者相談センター

１、事業概要

障がい児（者）地域療育等支援事業	**【県委託事業】**障がい児（者）のライフステージに応じた療育・相談等の体制整備、各種福祉サービスの提供の援助や調整等を行い、障がい児（者）及びその家族の福祉の向上を図った
発達障がい地域支援マネージャー事業	**【県委託事業】**県より左記事業を受託し、発達障がいサポートコーチ業務に当たり、児童期連絡会の参加や保育・学校・事業所への訪問などを通して支援体制の相談や助言などを行い、支援体制の充実を図った
市町村相談支援事業	**【南会津郡４町村委託事業】**障がい児（者）福祉に関する様々な問題について、本人やご家族等からの相談に応じ、情報の提供や助言、その他の必要な支援を行うとともに、障がいのある方の権利擁護の援助を行った
計画相談支援事業	**【サービス等利用計画作成】**障がい福祉サービスの利用者に対して、指定相談支援事業者（当事業所）がサービス利用計画を作成し、サービスが計画に基づいて、きちんと提供されているかモニタリングを実施した
一般相談支援事業	**【地域移行】**施設等入所者又は精神科病院等に入院している精神障がい者に対して、住居の確保その他の地域生活の活動に関する相談支援 **【地域定着支援】**居宅で単身生活する障害者等の常時の連絡体制を確保

２、職員配置

制　　度	職　　種	員数	常　　勤		非　常　勤		備　　考
			専従	兼務	専従	兼務	
みなみあいづ障がい者相談センター	管理者兼相談支援専門員	1	1	0	0	0	相談支援アドバイザー兼務
	相談支援専門員	1	1	0	0	0	
	相談支援員	1	1	0	0	0	
	相談支援員兼事務員	1	0	1	0	0	
合　　計		4	3	1	0	0	

（平成３０年３月末現在）

３、 実績件数の状況（平成３０年３月末現在）

平成２９年度　障がい児(者)地域療育等支援事業　実績件数				
支援種別	電話	訪問	来所	合計（件）
Ⅰ　市町村相談支援体制整備	16	115	0	131
Ⅱ　専門的な相談支援・指導	1	5	0	6
合　　計（件）	17	120	0	137
平成２９年度　発達障がい地域支援マネージャー事業　実績件数				
支援種別	電話	訪問	来所	合計（件）
Ⅰ　センター・医療機関等との連携	0	6	0	6
Ⅱ　事業所への支援	0	17	0	17
Ⅲ　市町村等の支援体制整備	0	9	1	10
合　　計（件）	0	32	1	33

平成２９年度　市町村相談支援事業　実績件数			
町村名	上半期	下半期	年間合計
南会津町	1175	977	2152
下郷町	306	361	667
只見町	171	207	378
桧枝岐村	2	0	2
合　　計	1654	1545	3199

平成２９年度　計画・地域相談支援　実績件数　　単位：件													
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画相談	２４	１８	３７	１６	１７	１７	２２	２５	２７	２１	５４	３４	３１２
一般相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	２４	１８	３７	１６	１７	１７	２２	２５	２７	２１	５４	３４	３１２

４、 提供したサービス内容

	活　動　名	活　動　内　容
1	地域の事業所や行政機関等との連携	多種多様な機関との連携を図りながら、専門的・個別的な相談及び助言を行い、管内の支援体制の整備に努めた
2	計画相談作成の支援 （障がい児・者計画相談）	今年度の計画相談年間作成件数３１２件の実績となった （前年度計画相談年間作成件数４２７件作成）
3	地域移行・地域定着支援 （一般相談）の実施	地域移行・地域定着支援の作成件数０件、町村委託相談事業にて対応した
4	自立支援協議会の活動への 参加・協力	県・広域・管内町村の自立支援協議会委員として積極的に参加・提案。また、南会津地方地域自立支援協議会では、事務局会議及び定例会の運営・協力に当たり、中核的な役割を果たした
5	県委託事業（療育・発達）の丁寧な対応	福島県７圏域の取り組みの把握、管内の関係者会議に出席し状況確認と報告をした。町村や事業所の課題や困難ケースへの助言、新しい社会資源の推進などに、外部講師の派遣や研修会を企画・開催した
6	福島県基盤整備支援アドバイザー事業への支援依頼	管内町村や事業所のスキルアップ研修などを開催し、福島県基盤整備支援アドバイザー事業へ外部講師の派遣依頼や助言を頂いた
7	ペアレントプログラム事業 研修会の実施	今年で４回目となった「ペアレントプログラム研修（子育ての手法を保護者・支援者で学ぶグループプログラム）」を９月～２月合計５回開催した
8	南会津郡４町村委託相談事業の丁寧な対応	障がい福祉に関する各種相談や情報提供及び助言等に取り組んだ今年度の年間実績件数 3,199 件と昨年の 81%増の過去最高の実績となった、また困難ケースも多かった （前年度の年間実績件数 1,765 件）

9	緊急時・非常災害時における対応と対策（事故対策）	火災・地震・水害等の非常災害時に備え、防災マニュアル・下郷町防災マップを確認した、避難訓練は実施出来なかった
10	職員の資質の向上 （研修の強化）	各種研修会への積極的な参加、会津圏域相談支援専門員協会勉強会・精神障がい者ワーキンググループへの定期参加や南会津２つの相談事業所による連絡・勉強会を定期開催した。また、相談支援様式の整備と活用を図った
11	障害者就業・生活支援センター事業の調査検証終了	事業の内容確認・実態把握・情報収集等を行い検証したが、継続的な実績計上や受託金の見込みなどの不確定要素もため、現段階では事業実施は見合わせることとなった。
12	個人情報の取り扱い	相談業務により知り得た個人情報を厳重に取り扱った

５、主な活動

自立支援協議会の活動	活　動　内　容	実　施　時　期
共に生きる部会	共に生きる部会の委員として参加	４月～２月（全 10 回）
運営会議・自立支援協議会全体会	事務局業務として調整・運営	４月～２月（全 10 回）
サービス委員会	サービス委員会の委員として参加	４月～２月（全 2 回）
就労委員会	就労委員会の委員として参加	４月～２月（全 4 回）
子ども部会	子ども部会の委員として参加	４月～２月（全 9 回）
相談委員会	事務局業務として調整・運営	４月～２月（全 2 回）

６、研修

その他研修	研修内容
外部研修 4 月	会津圏域相談支援専門員ソーシャルワーク研修、居住系サービスに関するワーキンググループ、アドバイザー会議・運営会議、精神保健福祉講演会
5 月	会津圏域相談支援専門員ソーシャルワーク研修、居住系サービスに関するワーキンググループ、福島県相談支援専門員協会総会・研修
6 月	会津圏域相談支援専門員ソーシャルワーク研修、地域生活支援拠点に関する市町村担当勉強会、第 5 期障がい福祉計画策定に関する研修会、精神保健福祉関係職員研修、精神保健福祉に関するワーキンググループ、居住系サービスに関するワーキンググループ南会津町発達支援ネットワーク実務者会
7 月	ペアレント・プログラムアドバンストワークショップ in 会津、第 5 期障がい福祉計画策定に関する研修会（第 2 回）、第 5 回リカバリーを学ぶ会（会津地区会）、会津圏域相談支援専門員ソーシャルワーク研修、居住系サービスに関するワーキンググループ、指定障害福祉サービス事業者等集団指導
8 月	東北地区知的障害者福祉協会専門研修会プレ研修、精神保健福祉に関するワーキンググループ、居住系サービスに関するワーキンググループ、ケア会議研修
9 月	第 5 期障がい福祉計画策定に関する研修会（第 3 回）、東北地区知的障害者福祉協会専門研修会、会津圏域障がい者保健福祉セミナー（シンポジストでの参加）、会津圏域相談支援専門員ソーシャルワーク研修
10 月	「こころの健康づくり講演会」、会津圏域相談支援専門員ソーシャルワーク研修、精神保健福祉に関するワーキンググループ、居住系サービスに関するワーキンググループ、

	F-ACT をつくる会　意見交換会、発達障がい児支援者スキルアップ事業第 1 回南会津方部研修会、福島県発達障がい者支援センター連絡協議会
11 月	会津圏域相談支援専門員ソーシャルワーク研修、グループホーム世話人研修会、居住系サービスに関するワーキンググループ、福島県医療観察制度運営連絡協議会、ひかり園保護者会・サポートブック作成会
12 月	福島県障害福祉サービス基盤整備支援アドバイザー事業研修会、計画相談実務者研修 in 県南、発達障がい児支援者スキルアップ事業第 2 回南会津方部研修会、精神保健福祉に関するワーキンググループ、居住系サービスに関するワーキンググループ、会津圏域相談支援専門員ソーシャルワーク研修
2 月	福島県知的障害者福祉協会合同研修会実行委員会、南会津町社会福祉協議会「支え合いの地域づくり研修会」、精神保健福祉に関するワーキンググループ、福島県知的障害者福祉協会合同研修会、居住系サービスに関するワーキンググループ、会津・南会津圏域精神障がい者地域移行圏域ネットワーク強化研修、特別支援教育体制促進協議会、下郷町のびゆく子ども支援事業第 2 回療育関係者連絡会議、第 2 回発達障がい者支援センター連絡協議会、南会津地域リハビリテーション従事者研修会、「さすけねぇ南会津サポートブック」いっしょにつくろう会
3 月	ペアプロフォローアップ研修、南会津広域自協会子ども部会リハビリ研修会
内部研修	職員合同研修会、伝達講習会を実施
自己啓発	相談支援に関する書物の購入、講演・研修会に自発的に参加できるように随時情報を提供

7、ボランティア活動

『ボランティア交流』	住民との交流をとおして障がいへの理解が深まるよう努めた
『ボランティア活動（奉仕活動）』	地域の環境美化（ゴミ拾いなど）に努めた：4 月、9 月、12 月に実施

8、環境美化事業計画

活動時期	活　動　内　容
４月、９月、１２月	事務所内・外の清掃…センター周囲ゴミ拾い・掃除、駐車場ゴミ拾いなど

9、保健衛生

感染症予防研修会参加、対策・安全衛生	マスクの着用、インフルエンザ予防接種、訪問時の手指消毒剤の使用などを実施した

１０、防災

【基本方針】
○災害（火災、地震、風水害等）の際に速やかに対応ができる体制整備や減災のための事前対策に努め、災害発生直後における災害発生から避難誘導までの訓練を行ない、防災マニュアルを整備・点検し、非常時に対処する
＜内容＞　避難場所を確認し、防災マニュアルを検討し整備に向け取り組んだ 年 2 回防災マニュアルを議題に確認、見直しを実施した。

１１、 事故防止

実　施　項　目	活　動　内　容
リスクマネジメント	相談事業用のひやり・はっと報告書を作成し、活用を図った
緊急時等における対応方法	訪問時の緊急対応マニュアルを職員で定期的に確認した
夜間相談支援体制	専用携帯電話２台にて夜間相談支援に対応した
車両の運転	安全運転に心掛け、車両整備を定期的に実施した

こまどり荘事業報告

１、事業所概要

（１）場　所

共同生活援助　こまどり荘　定員　７名	福島県南会津郡只見町大字長浜字久保田１７

（２）サービス内容・定員　　介護サービス包括型事業（共同生活援助事業）　　７名

介護サービス包括型事業（共同生活援助事業）	自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、利用者の身体及び精神の状況に応じて共同生活を送る居住において、入浴や排泄、食事、洗濯、掃除などの家事援助、生活に関する相談を提供した。

２、職員配置

事業所名	職種	員数	常勤		非常勤		備考
			専従	兼務	専従	兼務	
こまどり荘	管理者	1		1			サービス管理責任者兼務
	生活支援員	1	1				非正規職員
	世話人	1			1		非正規職員：7時間勤務
合計		3	1	1	1		

（平成３０年３月末現在）

３、利用者の状況（平成３０年３月末現在）

（１）利用者数

事業名／性別	男性	女性	合計
こまどり荘	１名	０名	１名
こまどり荘体験入所	３名	５名	８名

（２）障害状況

ア　障害名

事業名／種別	身体	知的	精神	その他
こまどり荘	１名	０名	０名	０名
こまどり荘体験入所	１名	７名	１名	０名

（重複障害含む）

イ　障害支援区分

事業名／区分	区分１	区分２	区分３	区分４	区分５	区分６	区分なし
こまどり荘	０名	０名	０名	１名	０名	０名	０名
こまどり荘体験入所	０名	０名	５名	２名	０名	０名	１名

（３）年間利用状況

事業名／種別	開所日数	定員	延べ利用人数	利用率
こまどり荘	５９日	７名	５９名	１４．３％
こまどり荘体験入所	５９日	名	１８１名	％

４、提供したサービス内容

活動名	活動内容
こまどり荘開所	平成３０年２月１日、只見町に初めてとなるグループホーム「こまど

	り荘」が開所となった。只見町より、開設費補助（建設費、備品等）の補助をいただいた。
個別支援計画の作成	利用者ニーズを把握し、利用者及び家族意向に沿った支援の提供を行った。
食事の提供	利用者の状態や疾病、ニーズに合った食事を提供し、衛生管理の徹底を図った。
身体機能及び日常生活能力の維持、向上の支援	残存機能維持と生活動作の支援、入浴・排泄・身体等の介護を実施した。
夜間支援体制	夜間の連絡体制を確保し（あかまつ荘、サービス管理責任者、関係職員、警備会社委託）、安全な生活が送れるよう配慮した。
生活相談	利用者や家族の方の生活全般の相談援助を行った。
健康管理	利用者の健康維持のため、障がい程度や健康状態を把握し、バイタルチェック、定期健診、感染症予防に努めた。
緊急時・非常災害時における対応と対策（事故対策）	火災・地震・水害等の非常災害時に備え、防災マニュアルに基づき事前対策や定期防災訓練を実施した。
職員の資質向上（研修の強化）	各種研修会への積極的な参加や施設内での伝達講習会等で、サービスの質の向上及び対人援助技術のスキルアップ等を計画的に実施した。定期的にスタッフ会議を実施した。
地域交流	地域での行事や各活動に積極的に参加し、住民との交流を通して障がいへの理解が深まるよう努めた。
余暇活動	余暇時間について、有意義な過ごし方ができるよう支援した。
送迎支援	買い物支援や定期受診等において、送迎支援の提供を行った。

５、主な行事

２月	節分（じねぇんと行事参加）		
	只見雪まつり		
３月	雛祭り（じねぇんと行事参加）		

６、研修

外部研修	①障がいや介護の理解や知識を得るための研修
内部研修	①各種研修会に参加した内容の伝達講習会の実施 ②業務チェックシートを使用し、日々の支援・業務の進め方の確認及び振り返り
自己啓発	講演会や、研修会に自発的に参加できるように随時情報を提供

７、ボランティア活動

『ボランティア交流』	開所して間もないという事もあり、実施できなかった。
『ボランティア活動（奉仕活動）』	

８、環境美化事業

活動時期	活　動　内　容
３月	冬囲い外し
その他	ホーム内清掃・トイレ掃除は、職員及び利用者（当番制）で実施

９、保健衛生

（１）利用者の健康維持を推進	○日々の健康状態を把握し、ご家族と連携し、利用者が健康で過ごせるように支援する。 ○ご家族、病院との連携を密にし、体調の変化に応じて、速やかな対応に努める。 ○利用者の健康診断（血液検査、胸部レントゲン検査等）・受診結果を確認し、利用者本人へ情報提供すると共に、必要に応じて看護師や嘱託医より結果説明及び指導を受ける。
（２）感染症対策	○流行の感染症情報を把握し、適切な処置・対応（予防接種の実施、感染症マニュアルに沿ったケア等）を実施し、ホーム内での発生予防に努める。 ○感染症発生時には、発生状況の把握、感染症による重症化・合併症の予防に努める。
（３）安全衛生の推進	○清潔で快適な生活環境を保ち、安全で快適な職場環境を整える。職員の健康診断を行い、生活習慣病の予防に努める。
（４）職員の医療的ケアの向上	○応急処置、感染症予防対策、保健衛生に関する研修を行い、知識･技術の向上を目指す。

１０、給食管理

【基本方針】
○利用者個々の状態や疾病に適した食事を提供する。 ○利用者の希望に沿った喜ばれる食事を提供する。
○食中毒防止のための衛生管理の徹底と事故防止対策の強化に努める。
【内容】
①楽しみのある食事を提供した。 ・利用者の要望に応え、「楽しさ」「おいしさ」が感じられる食事の提供に努めた。 ・季節食や行事食を通して、季節の味覚や地元の味を感じられるように努めた。 ②一人ひとりの健康状態に合わせた食事を提供した。 ・利用者一人ひとりの状況に合わせた食事形態を提供し、ソフト食等の提供に努めた。 ③食の安全に取り組んだ。 ・利用者、職員共に衛生面に心がけ、食中毒、感染症対策に努めた。

１１、防災

【基本方針】
○災害（火災、地震、風水害等）の際に、速やかに対応ができる体制整備や減災のための事前対策に努め、災害発生直後における災害発生から避難誘導までの訓練を行い、防災マニュアルを

整備・点検し、非常時に対処する。
【 内容 】
・防災無線を設置し、町内の災害情報等を常に把握できるようにした。 ・防災マニュアル及び防火設備の点検・整備、利用者への防災知識の説明を実施した。

【年間防災活動】

月	月 別 訓 練 内 容	計 画
2	防災マニュアルの点検・整備 防火設備の確認 利用者への説明	職員及び消防署による防災マニュアルの確認・点検、防火設備の点検 非常口の確認、非常ベルの確認

１２、事故防止

実 施 項 目	活 動 内 容
リスクマネジメント	利用者の事故を未然に防止するために、職員がリスクマネジメントに関する共通認識を持ち、ひやり・はっとレポート等を活用し職場内での安全対策強化を進めた。
緊急時等における対応方法	利用者に急変が生じた場合、速やかに医療機関へ連絡を行う等の必要な措置が講じられるよう対応した。
夜間支援体制	夜間及び深夜の時間帯に、利用者に緊急の事態が生じた場合、利用者等の呼び出しに速やかに対応できるよう、連絡体制（あかまつ荘、サービス管理責任者、警備会社委託）を確保するとともに、緊急時の連絡先や連絡方法を見やすい場所に提示した。
送迎バス等車両の運転	事業所への出退勤時や受診時の送迎時など、利用者の移動時に対する安全配慮（車両点検、安全運転）に努めた。